

こうざん やき まっ ちゃ ちゃ わん
江山焼 抹茶茶碗

●所在地／米湊 伊予市立図書館 ●所有者／伊予市

この抹茶茶碗は、^{まさしかぞう}榎鹿蔵（江山）の^{らくやき}楽焼茶碗である。口径 12.1cm、器高 7 cm、^{こうだい}高台径 4.8cm。

明治 42 年（1909）3 月 26 日、^{いとうひろぶみ}伊藤博文が^{ぐんちゆう}郡中の^{さいひんかん}彩浜館へ来遊した際、旅情をなぐさめるために、同館の庭に窯を築いて焼いたものである。

茶碗には、伊藤博文の「水光山色沙白松青影裏之人家」の 13 文字と、伊藤博文の雅号「^{きごう}春畝山人」が揮毫されており、歴史的にも貴重な工芸品である。

